

のびすく仙台 イベント報告



1/17(金) のびすく仙台ありがとう祭

開館 16 周年のテーマは「オリンピック」。ボール投げ、箱車、ボーリングなどの体験コーナーや、焼きそば、パン、アイスなどの屋台が立ち並び、いろいろな遊びを用意しました。金メダルをつけて写真撮影をしたり、手形アートや手作りおもちゃなどの製作コーナーもあり、いつもと違うひろばに子どもたちも大喜びでした。

エンディングは、スタッフによる「パペットシアター」一緒に歌ったり、踊ったりしながら笑顔がいっぱいの一日となりました。



2/9(日)そらとぶクレヨンコンサート

出演:そらとぶクレヨンさん

今年も保育士 3 人組のパフォーマンス集団、そらとぶクレヨンさんのコンサートがありました。

楽しいコスチュームで登場すると、会場はパッと明るい雰囲気に包まれました。クイズ形式のパネルシアターでは子どもたちの愉快的な回答に会場は盛り上がり、歌、踊り、コントもあり、あっという間の 40 分でした。いまから次回のコンサートが待ち遠しい楽しいひとときでした。



2/6(木)グループ相談「乳幼児の病気とけが」

講師:岡崎 草代夏さん
(仙台青葉学院短期大学看護学科 小児看護学助教)

子どもの病気やケガで困ったこと、悩んだこと、起こりやすい事故、冬に流行する子どもの病気についてお話しをしていただきました。

○冬に流行するRSウイルス、インフルエンザ、ロタウイルスなどの予防について

- ・手洗い、うがいの習慣化。手洗いは 20 秒間行う。
- ・水分をこまめにとり、のどをうるおすのも重要です。
- ・流行時には人込みをさけましょう。

○お子さんの具合の観察について

- ・3K(機嫌、活気、顔色)がポイントです。
- ・日頃からお子さんをみているお母さんの感覚を大切に、心配なときは受診するなどしましょう。

2/13(木)託児付料理教室

「手作り」バレンタインのプレゼント

【共催】仙台市ガス局

ガトーショコラ作りに挑戦しました。お母さんたちは、真剣な表情で、集中して料理を作っていました。

「お話ししながら楽しく作れて満足です。」「じっくり料理ができて良い気分転換になりました。」など嬉しい声がありました。



帰ってきた！
パパのコラム！！



親バカ万歳 パート2

『そうなの？ そうなんだよねえ』

息子が 2 歳後半になると、<自分の感情・意志・意見>が現れた言葉がどんどんふえてきました。「ダメだよ！」「いいよ！」「順番ね」「行こう！」「おいしいねえ」「大好き」「やりたい！」「いっしょにやる！」「バスに乗りたい！」「サッカーする！」……。私は、わが子たちに、「自分の気持ちや意見を、自分の言葉で話せる人になって欲しいなあ」と考えていますので、大人から言い聞かせるよりは、子どもから発せられる言葉を遮らずに喜んで聴くようにしてきました。親が、喜んで復唱するように応えてあげると、更に子どもの気持ちが膨らんで、新しい言葉が付け加えられて出てきます。こうした言葉のキャッチボールはすごく楽しいです。それでも、親として受け入れられないこともありますよね。受け入れられなくても、まずは「そうなんだよねえ」と受け止めるようにしています。そして、時間切れになると、親の意見を通しています。親も無理は禁物です。

佐々木 健二 (くろべ)

【プロフィール】特別養子縁組で三児の父親になる。鉄道会社の建築技術者、西公園プレーパークの会副代表理事

☆親バカ万歳パート2は今回が最終回です。佐々木健二さんありがとうございました！